

一般質問通告表

平成30年第2回始良市議会定例会（7月6日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 湯元 秀誠	1. 自治会放送施設の拡充を図れ	<p>合併して今日まで、平穏な歩みが続けてきた始良市に見えるが、この8年の間、外では東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨など災害や事故で尊い生命が失われている。先日の大阪の地震では小学校4年生の女兒が通学中に、塀ブロックの下敷きになり亡くなられた。あいさつ運動の係の早朝登校であったと聞き、胸が痛む思いである。</p> <p>始良市でも平成28年6月28日の豪雨で裏山のがけ崩れにより1人の方が亡くなっている。</p> <p>九州北部豪雨では犠牲者を未然に防いだ起因は自治会放送での避難の呼び掛けであり、現場で判断される情報発信の大事さが、今見直されている。</p> <p>(1) 平成28年6月28日の集中豪雨では、どのような防災体制で対処し、また防災放送の対応は的確に行われていたか問う。</p> <p>(2) 防災を重視しなくてはならない場所は、山間部や河川、海岸地域である。これらの場所は、情報の伝達が困難な地域であり、現況の判断も難しいと考える。アナログからデジタルに変わり整備が進む防災無線は、どこが、どう変わるのか問う。</p> <p>(3) 自治会の情報も発信もない地域では、防災無線放送からの呼び掛けは、普段聞きなれていないことから、住民の方々の反応は鈍い。</p> <p>効果を高める手段をどう考えているか。</p> <p>また、以前はなされなかった戸別受信機の点検は、どのように行うか問う。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 水道の包括的民間委託について</p>	<p>(4) 放送施設のある自治会、世帯数の普及率はいくらか。行政は補助金で対応しているが、対象の組織の区分はどのようなになっているか。</p> <p>校区コミュニティは行政主導で設置され、放送施設は一連の必要不可欠なもので行政の負担で整備すべきと考えるが問う。</p> <p>(5) 旧蒲生町では自治会放送施設は整備されていない。校区コミュニティでは高齢化する方々への情報伝達に大変苦慮されている。過疎債での整備の拡充は図れないか問う。</p> <p>地方公営企業である水道事業は必要な住民サービスを将来にわたり確保するために、経営戦略を策定し経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むことが、国から求められている。</p> <p>その中で民間的経営の活用として民間委託等活用を積極的に検討する必要があると説明を受けた。</p> <p>(1) 始良市の水道事業は、担当部局の努力とコンパクトな恵まれた環境形態で順調で良好な経営状況と見る。国の方向指針に、今、追従していくべきか。どれほどの検討がなされて今回の委託の方向に至ったのか問う。</p> <p>(2) 委託先は公募（プロポーザル方式）とある。対象とされる委託先は市内に存在するか。また委託業務がなされている3地区の管工事業協同組合への参画の配慮はあるか問う。</p> <p>(3) プロポーザル選定委員会の構成はどのように考えているか問う。</p> <p>(4) 地元の市民及び事業所の活用による地域雇用の創設を委託の定義と目的に上げられているが、委託料を5年間</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>で5億3,939万円にして年800万円程しか財政的効果は生み出せないとある。水道料金の軽減や無水供給地域の改善など住民サービスの向上などは、どこで示されるのか問う。</p> <p>(5) 水道料金は、合併協定項目に合わせ、統一化が図られたが、現在の管工事業協同組合への委託料の検討は合併後なされているか、その内容を問う。</p>	
2. 上村 親	1. 始良市水道包括的民間委託について	<p>本年6月6日、水道事業部より包括的民間委託についての説明があり、人口減少に伴う料金収入の減少や使用水量の減少等、公営企業をめぐる経営環境は厳しく、各地方公共団体においては、公営企業の経営環境の変化に適切に対応し、そのあり方について検討した結果、民間委託を活用するとの説明であった。</p> <p>(1) 平成26年8月29日付「公営企業の経営に当たっての留意事項について」、各公営企業において中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定となっているが始良市の「経営戦略」を示せ。</p> <p>(2) 県内において、鹿児島市、薩摩川内市、霧島市、肝付町が業務委託をしているが、「経営戦略」から導入の期間はどうか。</p> <p>(3) 予定している委託契約の概要については、平成31年4月1日から36年3月31日までの5年間で、委託額5億3,938万9千円となっている。料金関連業務の内訳（各料金の金額）年額を示せ。</p> <p>管理課業務係所管について</p> <p>①受付・窓口業務 ②調定・更正業務 ③料金請求・収納業務</p>	市 長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>④口座振替業務 ⑤滞納整理業務 ⑥給水停止業務 ⑦検針業務 ⑧閉開栓業務 ⑨検定満期メーター交換及びメーター在庫管理業務 ⑩船舶給水業務 ⑪電算処理業務 ⑫その他附帯業務</p> <p>施設課工務係・下水道課所管について</p> <p>①給水装置工事・排水設備計画申請審査・完成検査業務 ②管路修繕対応業務 ③貯蔵品管理業務</p> <p>(4) 民間委託で想定される課題及び対応策について、以下を問う。</p> <p>①受託者は、国の関係機関や公共が開催する研修に参加することができないとなっているが、その理由は何か。 ②情報の漏えいについて、過去にそのような事例があったのか。 ③委託業者の倒産等について、受託業者の財務状況が脆弱だった場合、倒産等により業務が停滞する恐れがあるとなっているが、資本金を含めどの程度の財務状況が好ましいと考えているか。</p> <p>(5) 委託選定から決定までが短期間であるが、その理由は何か。始良市管工事業協同組合への説明・協議等はなされたのか。</p> <p>(6) 始良市の管工事業協同組合は、旧町ごとになっているが、行政として組合統一に向け指導しているのか。</p> <p>(7) 始良市管工事業協同組合から提出された要望書(5月10日)について、水道事業部として回答しているのか。</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3. 堀 広子	<p>1. 里道の整備について</p> <p>2. J R減便対策について</p> <p>3. 市営温水プール設置について</p>	<p>萩原線から北へ約50メートルの生活道路（里道）は、幅員が狭く急な坂道である。市道や里道への出入りがとても困難で危険な箇所があり、緊急車両や災害の時なども通行に影響が大きい。</p> <p>誰もが安心して通れる道路に整備できないか。</p> <p>(1) J Rのダイヤ改正による減便で、列車を利用している高校生や高齢者などに大きな影響が出ている。この間、J Rに対し、どのような協議や要請をされたのか問う。</p> <p>(2) ダイヤ改正により、部活動を終えた生徒の帰宅時間が遅くなったり、後発の列車に利用が集中し、乗れないなどの影響が出ている。</p> <p>J R九州は、「通学・通勤など影響があれば検討する。」との報道があったが、その後、「臨時便を含め減便分を復活しない方向で最終調整している。」との報道がある。</p> <p>通学に支障がないよう列車の便の復活を求めるが、見通しと今後の対策はどのようなになるか。</p> <p>温水プールの利用は、健康増進につながり、医療費抑制などの効果が期待される。</p> <p>温水プール設置の要望は多く、これまで何度となく質問があり、その必要性は認識されている。</p> <p>今後、公共施設のあり方を検討する中で、民間の施設などの活用を含め、考えていきたいとのことであった。</p> <p>平成30年度施政方針が述べられたが、温水プールの件には、触れられていない。温水プールの必要性の認識とプー</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		ル設置の今後の計画についてどのように考えているか問う。	
4. 小山田邦弘	<p>1. 施政方針について</p> <p>2. 複合新庁舎建設について</p>	<p>(1) 時流の捉え方について 今後5年間に鹿児島は大きな飛躍が期待され、本市もその時流を的確に捉えたいという認識は共感できる。ただし、国や県などが全面的にバックアップする維新150年や国体、全国和牛能力共進会とは異なり、義弘公没後400年については、本市が積極的に風を起こさなければならない。時間的余裕がない中でどのようなムーブメントを考えているか考えを問う。</p> <p>(2) 4つのお約束について ①最初のお約束に教育を掲げられ、1丁目1番地が公立短大の設置になっている。なぜ今、四年制ではなく、短大なのか説明を求める。 ②駅を中心としたまちづくりについて、肝心のJRが「減便復活させず」という態度を示している。この逆風をどのように捉えているのか、逆風の中での成功の鍵は何を想定しているのか説明を求める。 ③全天候型の子ども館の設置も期待の大きい注目施策である。一方で、保育の民営化が進められており、市としての保育、子育て支援の今後のあり方を問う。 ④大型のグラウンドゴルフ場の設置も市民の期待は大きいですが、具体的な規模はどの程度のものを想定しているのかを問う。</p> <p>複合新庁舎建設事業と立地適正化計画の関係性をどのように捉えているか市長の考えを問う。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 犬伏 浩幸	<p>1. まちづくりについて</p> <p>2. 海を活かした観光振興について</p>	<p>施政方針において、JRの駅を中心としたまちづくりを推進するとした。以下、帖佐駅について問う。</p> <p>(1) 駅舎の整備について検討すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(2) 駅から大型商業施設までの道路整備・歩道整備等について今後の計画と検討すべき課題について示せ。</p> <p>(3) 駅周辺の地域経済について、現状をどのように捉えているか。また活性化に向けた取組が必要であると考えが見解を示せ。</p> <p>(4) 駅周辺のまちづくりについて、官民一体となった取組が必要であると認識しているが、方針を示せ。</p> <p>本市には、重富海岸・松原海岸・須崎海岸・加治木港・重富漁港・黒川岬など湾奥ならではの素晴らしい観光資源がある。</p> <p>これらを更に活用することで、観光や地域の振興が図られると考えるが見解を問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
6. 谷口 義文	1. 市長選について	<p>4月24日付、南日本新聞「始良市長選を顧みて」の記事の中に、詳細には触れていなかったが、「相手の中傷するデマが飛び、後味の悪さが残った」とあった。同じ内容は、8年前、4年前の市長選でも南日本新聞に掲載された。このような記事が選挙後に毎回新聞に掲載されること自体、始良市の大きな恥であり、不幸と言わざるをえない。</p> <p>今回も相手の中傷する様々なデマにより、市民が正しい認識と判断ができた中での選挙であったのかどうか、甚だ疑問に思うところである。選挙は本来、公平・公正（フェア）でなければならない。私</p>	<p>選挙管理 委員長 市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 施政方針と選挙公報について</p>	<p>は、フェアではなかったと感じる。</p> <p>始良市民のトップリーダーを選ぶ重大で責任ある選挙である。今回、選挙管理委員会は厳正・厳格な対応措置を取るべきだったと思うが、効力が発揮できずに終わり、残念である。この件に関してどう考えるか。</p> <p>結果を踏まえ、何故、毎回ここまで問われる選挙戦になってしまうのか。真相の解明と検証を重ね、二度と不信を招くような結果を生んではならない。市民の多くも今回の選挙はフェアではないと思っている。不信感が募ると払拭することはなかなか困難である。市民・議会・市職員との信頼関係が構築されて初めて始良市の未来が始まると確信している。選挙管理委員会の今後の対応を示せ。</p> <p>また、市長はこの選挙を振り返り、どう考え、どう感じているのか。</p> <p>「鹿児島が変わる」「始良も変わろう」という、一見、目新しいキャッチフレーズに聞こえるが、本市は着実に変化してきており、今更「変わろう」とは理解しがたい。本市は難しい3町合併を乗り越え、8年が経過し旧3町のそれぞれの課題と新市としての課題も着々と前へ進められており、人口も増加し、県内一暮らしやすい町へと大きく飛躍してきているではないか。このことは、県内はもとより、県外の多くの方々からも高く評価されており、誰もが認める事実である。「始良も変わろう」は抽象的で、具体性に欠けているように感じる。</p> <p>今回、市長が施政方針で述べられた政策及び選挙公報に掲載された、特に公約等は選挙に利用するためだけのものに終わらせてはならない。達成できるものに</p>	<p>市 長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		すべきである。市長の公約には多くの市民が注目し、関心を寄せている。行政経験のない市長が、初年度の市政に臨む意気込みと取組を問う。	